

2014年度事業報告書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

特定非営利活動法人 鞆まちづくり工房

1 事業の成果

(1) 特定非営利活動に係る事業

I) 鞆地区、瀬戸内海地域の歴史的資源を活用したまちづくりの提案,

企画開発・研修・交流・情報発信事業 (定款第5条(1)-①)

① 「福山藩茶屋蔵」の情報発信

福山藩ゆかりの茶屋蔵の公開を可能な限り行った。

② ユネスコ事業「お遍路の草刈り」(7/26)

ユネスコ未来遺産運動の一環で、支援企業の方々と一緒に宮崎駿監督が鞆滞在中に散歩した鞆から沼隈へと続くお遍路道の草刈りと清掃を行った。

③ 「鞆の津ばやし」踊りと三味線(9/13)

鞆の津ばやし保存会のメンバーや有志らとともに踊りと三味線の練習を重ね、地元の秋祭りに「鞆の津ばやし隊」として参加し、夜の町を三味線の生演奏と踊りで練り歩き、祭りを盛り上げた。

④ 海外からの視察の受け入れ

九州大学河野先生、ブータン文化大臣他2名(10/20)、イコモス世界委員長アロオズ氏(10/25)が鞆を視察し、対潮楼にて住職、奥様のお茶でもてなした。アロオズ氏は2度目の鞆来訪で、「鞆の現状に懸念を示す」との意見を表明された。

広島大学大学院留学生荘・瑜さんの鞆の浦研修受け入れた。(3月2-4, 9-11, 16-18, 24, 25)

⑤ 研修・視察の受け入れ

今年も以下のとおり、近郊・遠方を問わず多くの団体や個人が、町家再生・まちづくり・住民活動・鞆の浦世界遺産訴訟裁判など、さまざまな視点で視察や研修に訪れてくださり、NPOはその受け入れ・案内・講演などを行なった。

中国地方弁護士研修 (4/11)、名古屋まちづくり団体研修 (4/27)、九州大学学生、留学生、教師 4 5名研修 (5/17, 18)、高砂市より議員 輒来訪 「つくろい空間」を視察 (10/27)、) 丹波笹山社団法人ノウト 金野氏、藤原氏来訪、神戸市岡本商店街 1 5名来訪 (1/6)、神戸大学角松ゼミ研修 (2/10)

⑥ 他会への参加・交流

講演依頼を受け、あるいは情報交換等の目的で、全国各地で開催されたさまざまなシンポジウムや勉強会に参加。輒の浦のまちづくりについて情報発信するとともに、全国のさまざまな活動団体や住民・有識者と交流し、有意義な情報を得ることができた。

兵庫県塩谷グッケンハイム邸訪問 (解体に伴う古材の利活用) (4/25)、「大防潮堤を考える」シンポジウム (パネラーとして参加) (5/24)、東日本大震災の被災地、大槌町から気仙沼までを視察 (6/13-15)、港ネット幹事会 (尾道末永先生研究所) (7/3)、赤穂に研修 (11/14)、) 丹波篠山、社団法人ノウトを訪問、町や再生、街並みを見学 (11/30)、尾道空き家再生プロジェクト ワーキングショップ (見晴らし邸) 見学 (3/17)

⑦ 媒体を通じての情報発信

ホームページやメールおよびニュースレター、Facebook などでの情報発信を行ない、会員をはじめ支援・協力くださっている多くの方に広く情報を提供した。これにより、新たな交流や情報の交換が活発になってきた。引き続き日常の出来事などを Facebook などの情報メディアを有効活用した情報発信を行う。

また、伊呂波丸に焦点を当て、調査を行った報告書『伊呂波丸の謎とき』を作成し、関係機関などへの配布、一般の方への販売を行った。

II) 空家などを活用した住まい、店舗などの創出

空家バンクを促進する事業(定款第5条(1)-②)

① 「福山藩茶屋蔵」の活用

TBS系ドラマ『流星ワゴン』の主人公の家の入口として使われた。また、長年輒のまちづくりに関わってくれた東大の卒業生カップルが結婚式会場として使用するなど、貸し会場としての活用が見込まれる。今後は、方法やしきみづくりなど課題の検討が必要である。

② 「輒・町並みつくろい空間」の創出

輒の歴史的町並みを“繕う”という思いをこめて、空家を活用して「つくろい空間」を創出し、3年目を終えた。町並みを散策する人たちの情報提供の場として、またくつろぎの場として活用してきた。昨年度から、松右衛門帆布を使ったバッグの販売を新たに始め、高砂市議の方の視察も行われた。

③ 御舟宿いろは改修

2007年の完成から7年が経過し、建物の痛みが出始めたため、12月4日から26日、1月13日から28日の期間に建物の修理修景工事を行った。

- ④ 「町家トラスト」第1号の藻谷浩介氏が購入した町家の修復
しばらく空家であったため、建物の痛みが激しく、倒壊防止など緊急の修復工事を行った。今後は、短期滞在に利用できるよう必要な改修を行う予定である。

Ⅲ) 瀬戸内の港町ネットワークを推進する事業 (定款第5条(1)-④)

港町ネットワーク・瀬戸内

① 港ネット幹事会(尾道末永先生研究所)(7/3)

前年度に活動方針等を確認するも、今年度は十分な活動ができなかった。各団体がそれぞれの活動だけで手一杯な状況であり、常勤スタッフがいないため、どのように活動を進めるか検討が必要である。

Ⅳ) 観光を利用したまちづくりに関する事業 (定款第5条(1)-⑩)

御舟宿いろはを改修し、歴史的町家への宿泊体験事業を実施。現在は、御舟宿いろはだけであるが、今後はいくつかの町家を活用していく予定である。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事 者の 予定 人数	受益対 象者の 範囲お よび予 定人数	支出額 (円)
鞆地区、瀬戸内 海地域の歴史的 資源を活用した まちづくりの提 案、企画開発、 研修、交流、情 報発信事業	「福山藩茶屋蔵」の活用、 「鞆の津ばやし」踊りと三味 線、その他協力事業、 研修・視察の受け入れ、 他会への参加・交流、 媒体を通じての情報発信、 『伊呂波丸の謎とき』の出版な ど	通年	鞆町内 外	30名	2,000 名	500,000
空家などを活用 した住まい、店 舗などの創出、 空家バンクを促 進する事業	「御舟宿いろは」の補修 町家トラスト1号の改修	通年	鞆町内	10名	10名	100,000
港町 ネットワーク 事業	幹事会・総会・交流会の開催	随時	瀬戸内地区	10名	10名	200,000
観光を利用した まちづくりに関 する事業	御舟宿いろはを活用した歴史 的町家宿泊体験	通年	鞆町内	10名	400名	2,000,000